

2024

10

October

No.263

## JAとまこまい広域



SANSAN

光り輝く



特集

准組合員イベント「秋のいも掘り体験」開催農業の理解促進を図る

たわわに実った稻穂

JAとまこまい広域広報誌  
燃々光り輝く  
No.263

■編集・発行■

TEL 0145-27-2241 FAX 0145-27-3941  
JAとまこまい広域本所  
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2令和6年10月10日  
ホームページアドレス <http://www.jatomakomakouiki.com>  
メールアドレス info@jatomakomakouiki.com

印刷 ■ 株式会社 須田製版

## JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

## 第1回「東野秀樹」氏が組織代表に決定

全国のJAグループの農政組織である全国農政連では、現在JAグループ代表として現職である参議院議員「山田としお」氏が任期満了で退任することを受け、来年夏の参議院選挙に向けて、引き続きJAグループの候補者を擁立することとなりました。

これを受け、北海道のJAグループで組織する北海道農協政治連盟では、本道農業・JAを取り巻く環境が厳しさを増す中、「北海道から農民代表を国政に送るべき」との強い意見を踏まえ、現在ホクレン代表監事で、JA道北なよろ会長である「東野ひでき」氏を、全国JAグループの推薦候補者とすべく、擁立した経過にあります。

全国段階では、千葉県からも1名の立候補があったため、組織内で予備投票を行った結果、東野ひでき氏が全国のJAグループの組織内候補として決定いたしました。

今後、全国のJAグループの代表として活動いただくために、地元北海道として支援の輪を広げてまいりましょう。



東野ひでき公式  
LINEアカウントへの  
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。  
次回(第2回)は、東野ひでき氏の主張や人柄について紹介します。

東野ひでき北海道後援会

# JAとまこまい

SANSAN  
光り輝く

## No.263 CONTENTS

- 01 特集 準組合員イベント「秋のいも掘り体験」開催  
農業の理解促進を図る
- 03 カメラレポート
- 07 JAとまこまい広域の土壤を知る  
—樽前山から噴出した火山灰と軽石からできた  
未熟黒ボク土—
- 09 ·理事会報告  
·令和6年11月からの営業時間
- 10 期待の農力 山田耕司さん
- 11 ワンポイント営農情報
- 12 あぐり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 JAとまこまい広域 秋の貯金キャンペーン2024

裏表紙 JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第1回「東野秀樹」氏が組織代表に決定



いまかいまかと収穫を待ちわびる、たわわ  
に実った稻穂。(厚真町)



▲いも堀りの様子①



▲いも堀りの様子②



▲いも堀りの様子③



## 準組合員イベント「秋のいも掘り体験」開催 農業の理解促進を図る

▲いも堀り後集合写真

日本各地で大きな被害をもたらした台風10号の影響で前日までは雨の予報となっていたが、当日は太陽が燐々と降り注ぎ気温も30度を超える中、参加者たちは一心不乱に新ジャガのメークインを袋いっぱいに詰め込んでいた。いも堀りを楽しむ准組合員の方は「何度も参加させてもらっていますが、厚真町でれたジャガイモとても美味しい。このような企画を通して農家の方やJAの方と交流することができて良かった」と話す。

今年収穫されたメークインは、一般的な市場販売のほか当A施設で11月頃から氷の室で保管され翌年の「ゴールデンウィーク」前後に「氷室メークイン」としてAコープや苫小牧市内のホクレンショッピング、北広島にあるホクレンくるの杜で販売される。約7カ月保管される過程で「テンブン」が糖に変換されることで甘味が増したメークインへとなり、消費者の皆様には長年愛される商品となっている。

JAとまこまい広域は8月24日、厚真町鰯沼地区の工藤英暢さん(60歳)の圃場で准組合員向けイベント「秋のいも掘り体験」を開催した。募集定員の80名を超える170名の応募があり、8月3日に開かれた抽選会で当選者が確定した。当JAは道内では4番目に多い人口を抱える苫小牧市を中心に准組合員も多く加入しており、農作業体験を通じて農業への理解伸長とJA事業のファン拡大のほか、交流を図ることを目的に開催され今年で7年目を迎えた。

開催に当たり圃場まで駆け付けた宮田広幸組合長は「いつも金融・共済のご支援を頂きお礼申し上げます。このような機会を通して農業との関わりを感じて頂ければ幸いです。またさらなるご支援も頂ければと思います」と挨拶した。

JAとまこまい広域は8月24日、厚真町鰯沼地区の工藤英暢さん(60歳)の圃場で准組合員向けイベント「秋のいも掘り体験」を開催した。募集定員の80名を超える170名の応募があり、8月3日に開かれた抽選会で当選者が確定した。当JAは道内では4番目に多い人口を抱える苫小牧市を中心に准組合員も多く加入しており、農作業体験を通じて農業への理解伸長とJA事業のファン拡大のほか、交流を図ることを目的に開催され今年で7年目を迎えた。





▲新入部員と新入職員による自己紹介

同事業は、担い手である青年部員とJAの若手職員が親睦を深め、今後の営農活動と業務に寄与することを目的に毎年開催されていたが、コロナ明けの昨年より約4年ぶりに復活した。活動推進委員（米澤隼委員長）により企画・運営され、炭火を囲んだジンギスカンと青年部が各々景品を持ち寄ったジンギスカン大会が行われた。普段は顔を合わせることの少ない部員や職員が仕事の話のほかプライベートの話に花を咲かせ、会場は終始にぎやかな雰囲気で包まれていた。

参加したJA職員からは「楽しみながらお互いを知ることができてよかったです。より良いJAを目指してともに歩むべきさらなる信頼関係の構築に努めていきたい」と今後の意気込みが語られた。



▲交流を深める参加者たち

## 厚真 青年部員と若手職員による 交流事業「顔見せよう会」

JAとまこまい広域青年部厚真支部

8月23日、JAとまこまい広域青年部厚真支部（高橋健太支部長）は、厚真町内のJA本所倉庫内にて「顔見せよう会」を開催し、盟友21名と若手職員21名が交流を図った。

同事業は、担い手である青年部員とJAの若手職員が親睦を深め、今後の営農活動と業務に寄与することを目的に毎年開催されていたが、コロナ明けの昨年より約4年ぶりに復活した。活動推進委員（米澤隼委員長）により企画・運営され、炭火を囲んだジンギスカンと青年部が各々景品を持ち寄ったジンギスカン大会が行われた。普段は顔を合わせることの少ない部員や職員が仕事の話のほかプライベートの話に花を咲かせ、会場は終始にぎやかな雰囲気で包まれていた。

参加したJA職員からは「楽しみながらお互いを知ることができてよかったです。より良いJAを目指してともに歩むべきさらなる信頼関係の構築に努めていきたい」と今後の意気込みが語られた。



▲初出荷された米を検査する検査員

## 穂別 令和6年産米初検査

JAとまこまい広域米生産振興会穂別支部

令和6年産米の初検査が9月10日、JAとまこまい広域穂別支所米検査場にて行われ、キウス地区の中村由美さん（70歳）、茂別地区の清瀬利一さん（55歳）、平丘地区的清川伊代さん（42歳）が初出荷を飾った。

当日は、「ななつぼし」630袋（30kg袋）が検査され、全量1等米という幸先の良いスタートとなつた。

本年の水稻は、育苗期間中は全体的に高温傾向で出芽や苗の生育は良好に推移した。移植後も好天に恵まれ活着が順調で、その後の生育も良好。6月中旬以降は高温・多照で推移し、例年より早く登熟が進んだことで、稻刈りは昨年より2日早い、9月1日から始まっている。

開会にあたり宮田組合長は「昨今の猛暑や8月末頃の大雪で一部浸水等が見受けられ、影響が心配されたが、全量1等米という結果となり、作柄については申し分ない。これからも消費者から選んで貢えるような、お米の生産に努めていただき、豊穣の秋を皆さんと分かち合いたい」と挨拶。

初出荷に際し、中村由美さんは「今年も暑かつたため、水の管理や草刈りに苦労した。広域産の美味しいお米が一日でも早く、消費者に届くよう努力するので、店頭で見かけたらぜひ味わっていただきたい」と話した。



▲左から初出荷を飾った、中村由美さん、清瀬利一さん 清川伊代さんの父 三十四さん



▲大型のハーベスターでの収穫の様子(安平町早来)

地域の話題を  
パチリと

## カメラレポート



8月29日より、農事組合法人「らくのう」（谷口隆昌組合長）による「デント」（谷口隆昌組合長）による「デント」による収穫作業が始まった。

農事組合法人「らくのう」は、JAとまこまい広域管内における酪農及び各農業分野の生産者によって構成され、ハーベスター等を導入し、集団共同利用する

ことで農作業効率化、労働生産性向上と地域農業の安定化を図る目的で設立されたコントラクターで、取組開始から10年で約300ha。自走式ハーベスターで刈り取られ細断されたデントコーンは、大型ダンプ等で各生産者のもとへと運ばれ、サイレージへ調製されている。

今年の作柄について担当者は、「高温の影響により例年よりも熟期が進み、丈が短く実が細いので、収量は平年より少なく見込んでいます。また、8月下旬の降雨の影響もあるが、適期収穫を心掛け、少しでも良質なデントコーンの確保に努めたい」と話す。

作業は順調に進み10月中旬まで行われる。



▲振り取りした加工馬鈴薯を荷台に乗り選別している様子



▲ハーベスターで収穫した加工馬鈴薯を出荷用のコンテナへ移す作業

集団共同利用により  
作業効率化や生産性向上を図る苦小牧・早来  
追分・厚真

「らくのう」デントコーン収穫

ほのかに秋風を感じる9月2日。追分地区では令和6年産加工馬鈴薯の収穫作業がはじまつた。メインの品種はオホツクチップ・きたひめの2品種。どちらの品種も油との相性が良く、ボテトチップスへの加工のしやすさが最大の特徴だ。

追分地区中道JA理事は「今年は、昨年に比べると欠株が多く、雑草が多い影響で、ハーベスターを装着した2台のトラクターが畠を掘り起こしていく。追分地区中道JA理事は「今年は、昨年に比べると欠株が多く、雑草が多い影響で、ハーベスターを装着した2台のトラクターが畠を掘り起こしていく。

追分  
年々作付面積が拡大

加工馬鈴薯収穫始まる

地区では令和6年産加工馬鈴薯の収穫作業がはじまつた。メインの品種はオホツクチップ・きたひめの2品種。どちらの品種も油との相性が良く、ボテトチップスへの加工のしやすさが最大の特徴だ。早速、ハーベスターを装着した2台のトラクターが畠を掘り起こしていく。

追分地区中道JA理事は「今年は、昨年に比べると欠株が多く、雑草が多い影響で、ハーベスターを装着した2台のトラクターが畠を掘り起こしていく。

追分地区中道JA理事は「今年は、昨年に比べると欠株が多く、雑草が多い影響で、ハーベスターを装着した2台のトラクターが畠を掘り起こしていく。

いことは、火山灰や軽石など火山から噴出した放出物から土壤ができていても、火山に近すぎて粒径が粗く、かつ新しい火山灰が厚く堆積しているので風化や土壤化があまり進んでおらず、未熟黒ボク土あるいは火山放出物未熟土に分類されることを意味します。つまり、JAとまこまい広域周辺の火山性土は、リン酸を固定する力が低いので、リン酸施肥量を増やす必要はまったくなく、むしろ作物が吸収できる可能性が高い有効態リン酸も60前後と多いので、リン酸の積極的な減肥をすべきです。肥料価格が高騰している中で、リン酸減肥が十分可能な土壤であることを活用しない手はありません。

層位	リン酸吸收係数	有効態リン酸 (mg/100g)	陽イオン交換容量 (me/100g)	塩基飽和度 (%)
Ap1	770	56.8	12.3	65.3
Ap2	790	67.1	12.8	61.5
2C	1180	4.0	4.2	60.4
3A	1290	0.5	54.7	52.6
3AC	1200	3.6	33.5	33.5
4A	960	0.3	26.6	29.3
4B	980	0.7	35.0	27.3

表2 各層位から採取した土壤の化学性と可給態養分

### 深さ46cmまでは陽イオン交換容量が低い

作土層であるAp1層とAp2層の陽イオン交換容量(CEC)は12強と低く、その下の2C層は4.2と著しく低いことが分かります。土壤のCECは10未満で非常に低いと判定され、40以上で非常に高いと判定します(表3)。樽前cからできた真っ黒な3A層はCECが50以上と非常に高く、多量の腐植物質が貯まっているのでCECが高いのです。

CECは土壤の腐植物質や粘土鉱物が表面に持っているマイナスの電気(負荷電)の総量を示しており、負荷電にはカルシウムイオン、マグネシウムイオン、カリウムイオン、水素イオン、アルミニウムイオンなどプラスの電気を持った陽イオンがくっ付いています。負荷電にくっ付いているカルシウムイオン、マグネシウムイオン、カリウムイオンの割合のことを塩基飽和度と呼んでおり、北海道施肥ガイドでは60~80%に改良することが推奨されています。土壤のCECが低いことは、人間の胃袋に例えると消化する力が弱いことを意味します(図1)。胃袋が元々小さい土壤なので、腹八分目にするためには塩基飽和度を80~90%に高めること、肥料や土壤改良材は一気に入れるのではなく、何度も分けて入れることが必要です。

陽イオン交換容量	レベル
<10	非常に低い
10~20	低い
20~30	中位
30~40	高い
>40	非常に高い

表3 土壤の陽イオン交換容量(CEC)とそのレベル

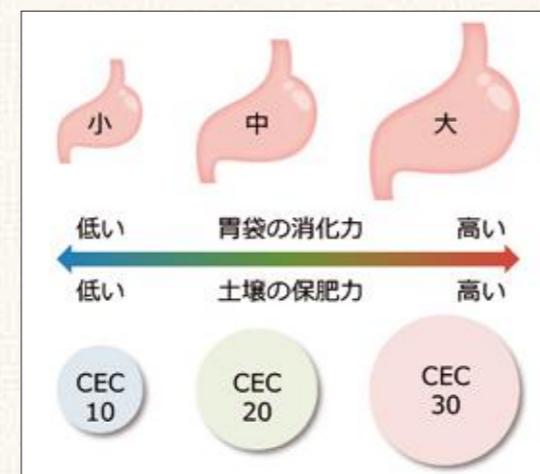


図1 土壤のCECを人間の胃袋に例えると

### 作土層の深起こしではなく有機物資材の積極的な施用を

深さ50cmより下にCEC50以上の3A層があるので、プラウなどで深起こしすれば作土層のCECが高くなつて良いかもと考えるのは厳禁です。表2のデータをよく見ると3A層や3AC層のリン酸吸收係数が1,200強とやや高く、しかも有効態リン酸は非常に低いので、下層を混ぜるとリン酸肥料が急激に効かなくなります。

土壤のCECを高めるのは簡単なことではありません。ただ、緑肥や堆肥などの有機物資材を積極的に施用すれば、土壤の腐植物質が増えてCECを高めることができます。長い時間はかかりますが、元々が素直な土壤なので、土づくりに取り組んだ効果は他の土壤よりも早く現れるポテンシャルが高いとも言えます。

次回のコラムでは、もう一つの土壤断面の結果を紹介しながら、通気性、排水性や保水性といった土壤の物理性の特徴について解説したいと思います。

## JAとまこまい広域の土壤を知る —樽前山から噴出した火山灰と軽石からできた未熟黒ボク土—



国立大学法人帯広畜産大学  
グローバルアグロメディシン研究センター  
教授 谷 昌幸



### 樽前山から様々な火山灰と軽石が噴出

前回のコラムで説明したように、胆振地域には支笏カルデラ(現在の支笏湖)、恵庭岳、そして樽前山から放出された火山灰や軽石などが厚く堆積しています。中でも、約9,000年前に誕生した樽前山は、現在までに4回の破局的な大噴火を起こしており、約8,000年前に噴出したオレンジ色の軽石である樽前d、約2,500年前に噴出した大量の火山灰である樽前c、1667年と1739年に噴出した樽前bと樽前aと呼ばれています(表1)。

厚真町字隆のコムギ畠で土壤断面を掘ってみたところ、深さ1mまで樽前山から噴出した火山灰と軽石が堆積していることが観察されます(写真1)。とくに、深さ80cmから下には大きさ1~3cmのオレンジ色が特徴的な軽石が堆積しており、この層を見つけると樽前dであることが判定できます(写真2)。十勝地域でも樽前dが観察されることがありますが、大きさは約0.1~0.2cmであり、噴出源である火山に近い地域では軽石や火山灰の粒径が粗いことを示しています。

火山灰	記号	降下年代
樽前a	Ta-a	1739年
樽前b	Ta-b	1667年
樽前c	Ta-c	約2,500年前
樽前d	Ta-d	約8,000年前

表1 樽前山から降下した火山放出物と降下年代

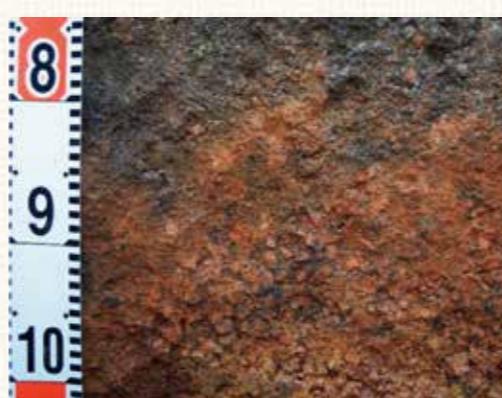


写真2 約8千年前に降下して堆積した樽前d軽石

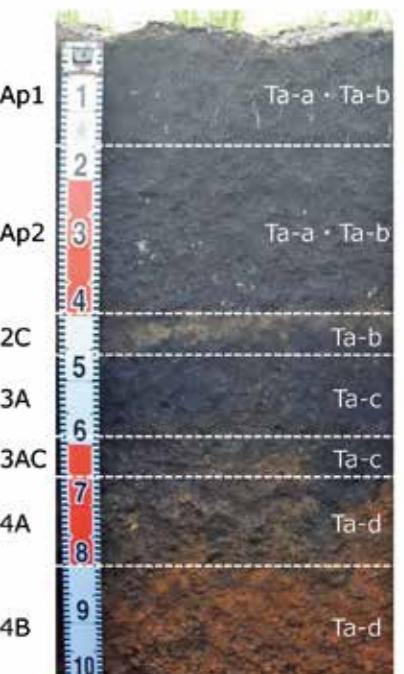


写真1 未熟黒ボク土の土壤層位と火山灰  
(厚真町字隆コムギ畠)

### 作土層はリン酸吸收係数が低く有効態リン酸が高い

表層から深さ1mまでを、土壤の色や手触りなどで7つの層位に分け、それぞれの層位から土壤試料を採取して化学性や可給態養分を分析してみました(表2)。作土層の土壤診断を見ることは多いと思いますが、作土層より下の層位まで分析するのは珍しいかもしれません。

プラウで耕起された表層から深さ40cmまでのAp1層とAp2層のデータを見ると、リン酸吸收係数は1,000未満と低いことが分かります。リン酸吸收係数は、火山灰からできた“黒ボク土”であるかどうかを判定するための基準として使われ、1,500以上であればリン酸固定力が著しく高いので黒ボク土に分類されることになります。この値が1,000未満と低

# さんさんかがやく 期待の農力



小さな変化に気づくことが  
長命連産につながる



やまだ こうじ  
**山田 耕司さん(26歳)** 厚真町浜厚真

**就農のきっかけ**  
耕司さんは「小さい頃から手伝いをしていて牛が身近で生活の一一部だったので、酪農業を継ぐものと思つて専門に学べる学校に進学しました」と話す。家の中にはトロフィーやメダルなどが数多く飾られており、「祖父の代から牛の共進

父の憲司さんと母の澄恵さんの長男として北海道厚真町で生まれ育つた耕司さんは、農業を中心とした専門的な学習機会を求め、わの森高等学校と八紘学園専門学校で酪農の基礎を学んだ後、当JAの安平町酪農ヘルパーア用組合で2年間の実務経験を経て新規就農を果たし、4年目を迎えた。現在は、44頭の経産牛と42頭の未経産牛のほか、牧草20.5haに加え、エンドコーン8.5haを父と奥さんの美晴さん、そして耕司さんの3人で飼育・栽培管理を行う。

**今後の目標**  
耕司さんは最後に「短期的には作業できるように改善したい。また長期的には搾乳牛を最大50頭にして経営の安定化を図りたい」と

耕司さんの牧場では個体ごとに工サの配合や量など、その牛に合うように変えており、「今でも難しく減つてしまいバランスの良い工サを作る難しさと、良質な粗飼料を作ることの大切さを痛感した」と當時を振り返った。体力的にも大変と感じることもあるようだが、自分が配合した工サで乳量が少し増えるなど、数字に表れるやりがいを感じる」と話してくれた。

## 理事会報告

令和6年9月12日(木)に総合営農センターで第9回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- 一般報告と当面する諸行事について
- 8月末財務報告について
- 組合員の異動について
- 固定資産の取得・処分について
- 第2四半期余裕金運用について
- 外部出資先の経営状況について
- 令和6年度7月期(半期)ディスクロージャー誌について
- 経営定期点検の結果について
- 内部監査の結果について
- 管理委員会の結果報告について
- 生産委員会の結果報告について

- ALM委員会報告について
- コンプライアンス委員会報告について
- 令和6年度産地交付金メニューについて
- J Aとまこまい広域杯少年サッカー大会について
- 令和6年産新米贈呈について
- 令和6年産新米キャンペーンについて
- 令和6年産小麦の調製状況について
- 令和6年度家畜共進会・枝肉共励会の結果報告について
- 要対策組合員試算状況確認結果について
- 大口貸出先上位50件の経営状況報告について
- 信用供与50,000千円を超える組合員の経営状況報告について



- 令和6年産米集荷販売に係る取組方針について
- 令和6年産特定米穀の集荷取扱要領について
- 令和6年産小豆・大豆等の集荷取扱要領について
- 第2四半期仮決算(収支予測)について



- 議案第1号 北海道農業信用基金協会への出資増口について  
議案第2号 取引のリスク評価書の改正について  
議案第3号 個人情報取得規程等の一部変更について

- 議案第4号 営農用機械・園芸施設リース事業規程の廃止について  
議案第5号 理事への貸付について

## 令和6年11月からの営業時間一覧表

		本所 厚真支所	上厚真店	早来 支所	追分 支所	穂別 支所	白老 支所	苦小牧 支所	ホクレンショップ 苦小牧店・沼ノ端店 しづかばん	生乳 検査場	死亡牛 処理
一般業務	平 日	9:00~17:00	—	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00 (12:30~13:30休業)	9:00~17:00	—	持込 12:00まで	9:00~17:00	
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	9:00~12:00	9:00~12:00	休 業	9:00~12:00	—	持込 10:00まで	9:00~12:00	
金融業務 (平日のみ営業)	平 日	9:00~16:00	—	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	—	—	—	
A T M (祝日は休業)	平 日	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	—	—	9:00~21:00 しづかばん 20:00	—	—	
	土曜日	9:00~12:30	9:00~12:30	9:00~12:30	休 業	9:00~12:30	—	9:00~17:00	—	—	
	日曜日	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	—	9:00~17:00	—	—	
生産資材	平 日	9:00~17:00	—	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~16:00 (12:30~13:30休業)	—	セブンイレブン・ ローソンATMの 取扱時間	—	—	
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	休 業	—	—	—	
農機車両 センター	平 日	9:00~17:00	—	—	—	9:00~17:00	—	平日8:00~22:00 土曜8:00~21:00 日曜8:00~21:00 祝日8:00~21:00	—	—	
	土曜日 (1~3月休)	9:00~12:00	—	—	—	9:00~12:00	—	—	—	—	
給油 所	平 日	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00	—	手数料110円/回 の取扱時間 平日8:45~18:00 土曜9:00~14:00	—	—	
	土曜日	8:00~17:30	8:00~17:00	8:00~13:00	8:00~13:00	8:00~17:30	—	—	—	—	
	祝 日	8:00~17:00 (1/1~3/31休業)	休 業	休 業	休 業	8:00~17:00 (1/1~3/31休業)	—	上記取扱時間以外 及び日曜・祝日の 手数料220円/回	—	—	
	日曜日	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	—	—	—	—	
Aコープ (1~3月は祝日休業)	平 日	9:00~18:00	—	—	—	—	—	—	—	—	
	土曜日	9:00~17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	
	日曜日	休 業	—	—	—	—	—	—	—	—	

\*1月~3月の毎週土曜日は本支所の金融、共済、生産資材、農機具センター、一般事務の営業を休止とします。(給油所、Aコープ、ATMは営業)

# さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

## 畑作における 緑肥の活用に ついて

緑肥は窒素・カリ含有量が高く、土壤中で分解するとこれらの養分が放出され後作物に吸収利用されます。緑肥を利用して減肥を行い、生産コストの低減に努めましょう。

### 1 後作緑肥栽培後の減肥について

いずれの緑肥でも、カリはすき込み後1作目に減肥が可能です。一方、窒素はすき込み時のC/N比によって異なり、C/N比の低いものほど速やかに窒素放出量も多くなります。土壤診断結果に基づき適切な施肥設計を行いましょう。

(C/N比20以下)

すき込み1年目の春から窒素が放出し、夏にかけて分解が活発化します。窒素施肥は、緑肥に含まれる窒素に対応して減肥します。

(C/N比20以上)

春先から窒素の放出はありませんが、地温が上がる夏以降に徐々に放出します。後作物の窒素施肥量減肥はわずかです。

表 後作緑肥の減肥可能量と適する後作物

後作緑肥作物	緑肥収量(kg/10a)		すき込み時 C/N比	減肥可能量(kg/10a)		適する後作物
	生重	乾燥重		窒素	カリ	
えん麦	2500～4000	400～600	15～25	0～4	10～20	豆類(特に大豆)
ヘアリーベッチ	1500～2500	150～250	10～11	3～5	6～10	てん菜、ばれいしょ、小麦
アカクローバー*	1200～2500	150～350	10～13	2～4	4～8	秋まき小麦、てん菜
シロカラシ	3000～4500	350～550	12～20	4～6	10～20	てん菜、ばれいしょ、小麦
ひまわり	1500～3500	200～500	13～20	2～4	6～14	小麦

\*アカクローバーは間作緑肥としての減肥可能量

### 2 後作緑肥のすき込みについて

すき込み時期はおおむね10月中～下旬で、緑肥が分解される温度が確保でき、緑肥が結実する前の時期が適期です。ただし、すき込み時に多湿条件で練り返しが起きる可能性がある場合は、天候を見ながらすき込みましょう。

生育量が少ない場合やC/N比が低いヘアリーベッチなどは、ロータリーハローで直接すき込むことができます。

一方、生育量が多い場合やC/N比が高い緑肥はプラウですき込む前に、ストローチョッパーなどによる細断作業が必要です。

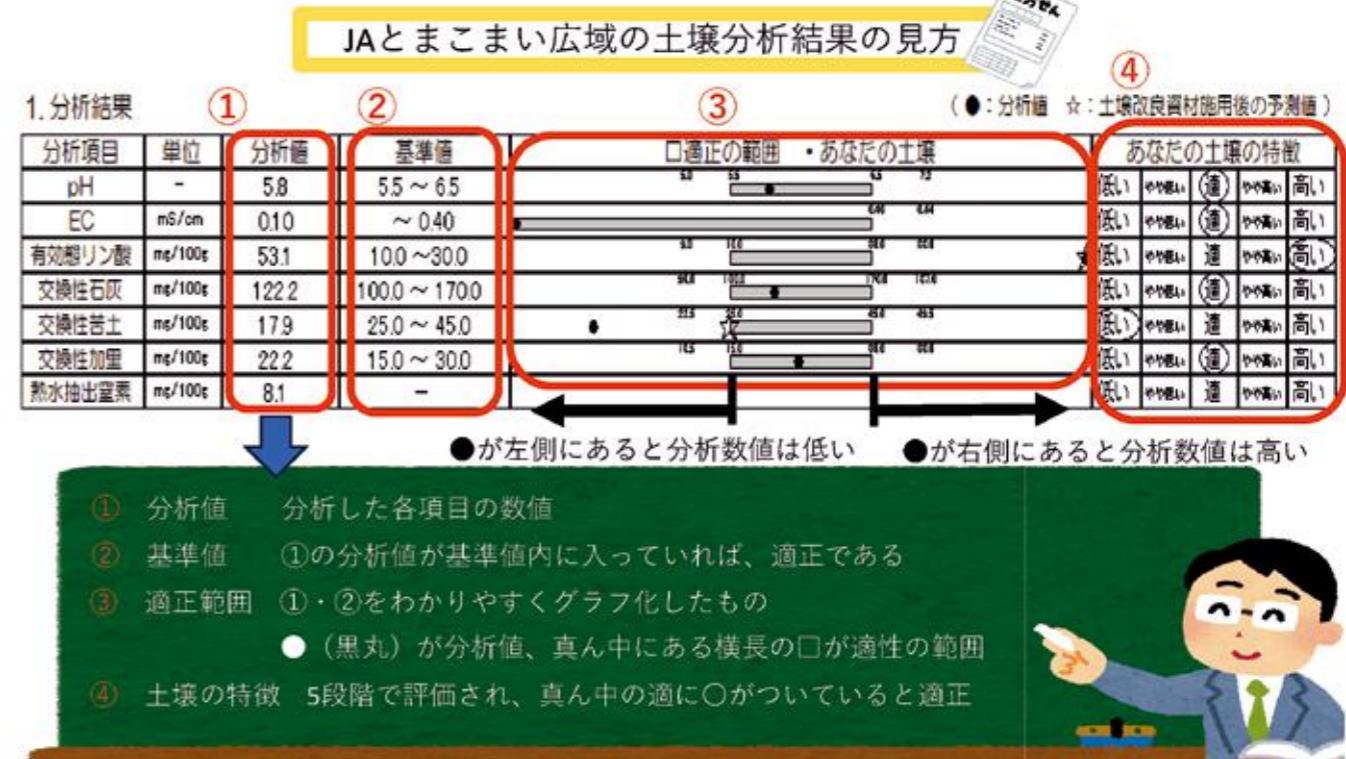


写真 ヘアリーベッチ

## ワンポイント営農情報

### 次年度の営農に向けて土壤診断で、適正な肥料設計をしよう

とまこまい広域管内のは場は、火山の影響の度合いにより多様な土壤特性となっています。また、肥料保持力(CEC)や腐植含量が少ないため、短期間で土壤の養分過剰や欠乏、バランスの悪化を引き起こしやすい特徴を持っています。



### 上記分析結果による施肥設計の考え方

分析値と基準値を照らし合わせると、適正值から離れているのが、有効態リン酸と交換性苦土である。有効態リン酸は高い数値であるため、減肥が可能と考える。

交換性苦土は低い数値であるため、苦土入りの土改材または、肥料を入れる必要があると判断できる。

### シリーズNo.52 おいしい米づくり

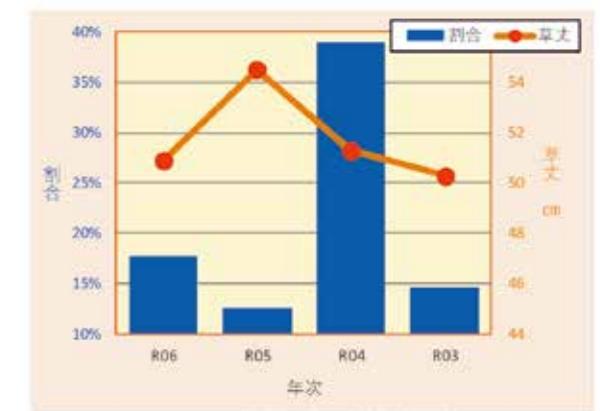
### 今年の生育の経過

\*JA管内幼形期調査より

今年は移植後の植え傷みが少なく、初期から分けつが旺盛で、初期生育が不良の目安となる「幼穂形成期時期、株当たり茎数20本未満」のは場が18%となり、近年で見ると令和4年を除き、初期生育が良好な年が続いている。

また、作業では近年の高温年を意識してか、中苗の育苗日数が平均29日と、5年前と比較し3日ほど短くなっている傾向が見られます。

近年の天候の変化に合わせた苗づくりを意識して、健苗育成が行われている変化だと思います。



**AJA銀行 Autumn Chokin Campaign 2024**

# 秋の貯金 キャンペーン 2024

9/9月~11/15金

組合員の方または新たに組合員加入いただいた方

## スーパー定期貯金

20万円以上の新規または純増(自動継続)

1年定期  
**0.175%**  
(2024年8月26日時点の店頭金利0.125%)

3年定期  
**0.200%**  
(2024年8月26日時点の店頭金利0.150%)

他銀行等からの新規預け入れ金額が300万円以上で  
広域産新米5kg  
(お一人様1回限り)  
プレゼント

その他の注意事項

- お米プレゼントのみ、他銀行等からの新たなお預入れ資金とします。
- 自動継続後の適用金利は、自動継続日における店頭表示金利となります。
- ATM、ネットバンクでのお預入れは対象外となります。
- お利息には20.315%(国税15.315%、地方税5%)の源泉分離課税が適用されます。(マル便を除く)
- やむを得ず中途解約された場合は、当JA所定の中途解約利率が適用されます。
- 組合員加入をお申込みいただいた方は、当JA地区内に住所を有する個人、または勤務先が当JA地区内の方となります。
- 組合員加入お申込に際しては、1口1,000円以上の出資金をお預かりいたします。

JAとまこまい広域  
ホームページ <http://www.ja-tomakomaikouiki.com/>

苦小牧支所 ☎0144-84-5117 早来支所 ☎0145-22-2525  
厚真支所 ☎0145-27-2241 遠分支所 ☎0145-25-2525  
白老支所 ☎0144-82-2266 穂別支所 ☎0145-45-2211

## JA日誌

2024 10月

2024 11月

## 当JAから「ゆめびりかの匠」が選出

JAとまこまい広域の岩渕敏彦さん(厚真)と石崎憲一さん(穂別)が、「ゆめびりかの匠」に選ばれた。同賞は、毎年行われるゆめびりか良質米生産出荷表彰で「優秀表彰」を5年連続受賞した全道の生産者が対象となる。

生産者組織の「北海道米の新たなブランド形成協議会」では、ブランドを守る取り組みとして自ら定める基準をクリアすることに加え、全道平均以上に出荷率の生産者へ毎年「良質米生産出荷表彰」を行っており、優秀表彰と優良賞表彰の2つの賞がある。

厚真地区: 岩渕敏彦さん、西村忠彦さん、畠嶋賢蔵さん  
穂別地区: 石崎憲一さん、菊地英智さん

## 農作業中の労働災害に気を付けましょう

収穫作業が終盤に差し掛かった10月以降は、日も短くなり、疲れ・焦り・夜間作業での農作業事故が多発します。特にトラクターや機械の整備、作業中の事故が多く死亡に繋がるケースも発生します。畜産関係では、家畜との接触による怪我など1年を通して発生しています。また牧場から家畜が脱走し車との接触事故などの事例も発生する可能性がありますので、十分に注意を払い作業を行いましょう。

## 職員異動 依頼退職 お疲れ様でした

9月30日付早来支所 原子 優斗 平成27年4月1日入組  
早来支所販売課係、同支所農産係、販売企画部施設課係、  
早来支所農産主任、同支所営農農産主任を務め依頼退職

## お悔やみ 謹んでご冥福お祈りいたします。

月	日	地 区	氏 名	享年	月	日	地 区	氏 名	享年
8/18	むかわ町	西 武次郎さん	95		9/7	厚真町	得地 福治さん	88	
8/22	苦小牧市	大島 春夫さん	91		9/11	厚真町	畠嶋 幸子さん	85	
8/27	厚真町	上田 幹雄さん	81		9/15	厚真町	照井トミ子さん	77	

ホクレン南北海道 黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(9月)  
令和6年9月11日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	28	555,750	1.160	1,652
	雌	13	448,769	1.014	1,447
苦小牧	去勢	4	572,000	1.129	1,740
	雌	5	477,600	1.024	1,507
早来	去勢	24	544,667	1.158	1,538
	雌	15	445,467	1.076	1,328
厚真	去勢	12	569,083	1.184	1,680
	雌	13	446,385	1.061	1,382
穂別	去勢	24	550,083	1.146	1,634
	雌	26	424,077	1.011	1,373
追分	去勢	11	545,364	1.114	1,523
	雌	6	502,333	1.077	1,404
とまこまい 広域	去勢	103	552,922	1.153	1,613
	雌	78	445,474	1.039	1,388
胆振管内	去勢	215	560,065	1.158	1,638
	雌	145	455,945	1.038	1,427
市場計	去勢	814	531,101	1.127	1,595
	雌	637	426,468	1.028	1,360